

'93

No.269号

2月号



1/8 第10回書き初め大会

—今年1年の決意を込めて墨黒々と書き初め—



平成4年 鹿部町議会 第4回定例会

○一般会計・特別会計補正予算
○鹿部町商工業振興条例の制定
○第三次鹿部町振興計画の基本構想を定める
など

平成四年十二月十六日開催
されました、平成四年第四回
鹿部町議会定例会の各議案項
目と主な内容についてお知らせ
いたします。

議 案 項 目

◎議案第一号

平成四年度鹿部町一般会計
補正予算専決処分報告の承
認について

◇主な内容

内臓物捨場及び一般廃棄
物捨場造成工事請負費
百万円追加

◎議案第二・三・四号

鹿部町の職員（幼稚園教諭
を含む）の給与に関する条
例及び寒冷地手当支給条例
の一部を改正する条例の制
定

◇主な内容

国家公務員の給与等の改
正に準じて、町の職員の給
与の改定を行いました。

◎議案第五号

平成四年度鹿部町一般会計
補正予算について

◇主な内容

千六百三十万四千円を追
加し、予算総額を二十八億
百七十四万四千円としました。

（歳出の主な内容）

国民健康保険特別会計・基盤
安定事業繰出金
三百二十四万九千円追加

町道大岩一号線用地外購入費
三百八十七万七千円追加

町道鹿部海岸線橋梁整備工事
補償費
百二十二万二千円追加

渡島東部消防事務組合負担金
三百七十九万九千円追加

などが歳出の主な内容です。
（歳入の主な内容）

歳入では、事業費などについ
てはそれぞれ、国・道等の負
担区分により歳入を調整して
おります。

◎議案第六号

平成四年度鹿部町国民健康
保険事業勘定特別会計補正予
算について

八百四十一万三千円を追
加し、予算総額を五億六千七百
七十九万七千円としました。

◇主な内容

主な追加内容は医療費の増
加に伴う補正です。

◎議案第七号

平成四年度鹿部町老人保健
特別会計補正予算について
六十八万円を追加し、予算
総額を三億一千五百三十三万八
千円としました。

主な追加内容は医療費の増
加に伴う補正です。

◎議案第八号

平成四年度鹿部町水道事業
会計補正予算について
事業費用で、六十八万円の
追加をし、この結果収益的収
入及び支出の予算総額は、七
千八百九十八万八千円となり
ます。

主な追加内容は給与改定に
伴う補正です。

◎議案第九号

鹿部町集会所使用条例の一
部を改正する条例の制定に
ついて

（鹿部第二集会所の廃止）

◎議案第十号

鹿部町商工業振興条例の制
定について

◇主な内容

地場企業が当町の経済
において果たす役割の重
要性にかんがみ、技術革
新の進展、需要構造の変
化等に積極的に対応し得
る地場企業を育成するこ
とと公害防止対策を基本
におき、その経営安定と
振興を図るため、助成の
措置を講じ、もって当町
の経済の発展と雇用機会
の拡大に寄与することを
目的としております。

◎議案第十一号

第三次鹿部町振興計画の基
本構想を定めることにつ
いて

◇主な内容

平成三年四月二十二日
諮問された第三次鹿部町
総合計画（平成五年から
一〇年間）について、町
の将来性を総合的に審議
され、答申されたもので
す。

この計画は、住民福祉
の向上を究極の目的とし
て、住民にとって望まし

い鹿部町の将来ビジョン
を描いたものであり、こ
の計画の目標を達成する
ため総合的かつ計画的な
まちづくりの基本方向を
定めるとともに、施策の
実現にあたって町政が果
たすべき役割を明らかに
するものです。

◎議案第十二号

鹿部町総合計画策定審議会
条例を廃止する条例につ
いて

（鹿部町総合計画が答申さ
れたことに伴い廃止）

◎意見案第一号

国民の祝日「海の日」制定
を求める要望意見書

◇主な内容

我が国は四面を海に囲ま
れた海洋国家である。
海は、我々日本人の食生
活の多くを占める水産品の
調達はもちろん、日常生活
に欠くことのできない物資
の大半を海上輸送によって
確保し、貿易立国としての
我が国を支えてきた。

また、海は海水浴や潮干
狩りなど国民の憩いの場と
して親しまれ、釣りやクル
ージングなどマリッジヤ

ーなど国民の憩いの場と
して親しまれ、釣りやクル
ージングなどマリッジヤ

による余暇活動の場として、新たな役割も期待されている。

このように我が国と海の歴史的、文化的及び社会的かわりを考えた場合、国民が海の大切さを理解し、恩恵に感謝し、更に国際化社会に向けて、これからの海の利用と安全及び環境保全について考えるためにも、海洋国家日本が世界に先駆けて「海の日」（七月二〇日）を国民の祝日として制定するよう強く要望する。

◎意見案第二号

第十一次道路整備五箇年計画における総投資規模の確保等に関する要望について
◇主な内容

道路整備の促進は、北海道の地域の活性化と豊かな生活を実現するための緊急の課題であり、今後、高規格幹線道路から市町村道に至る道路網の整備を強力に推進し、道路交通の安全、環境と調和したゆとりのある生活の実現、一極集中の是正による活力ある地域社会の形式を図る必要がある。よって、政府におかれ

ましては、道路整備の重要性を深く認識され、平成五年度を初年度とする第十一次道路整備五箇年計画の総投資規模七六兆円を満額確保し、計画の確実な実行を図るため、道路特定財源を充実し、一般財源の大幅投入を図るよう強く要望する。

町議会議員選挙結果

(単位：票)

当落	氏名	年令	新現元別	得票数
当	盛田 鉄次	57	新	296
当	佐藤 友一	61	元	243.368
当	大沢 喜代治	59	新	239
当	野田 重毅	45	現	228
当	西谷 正昭	61	現	225
当	佐藤 佑二	63	現	223.337
当	佐藤 頼幸	45	現	194.293
当	川村 清	62	新	177
当	川原 勝美	64	現	175
当	伊藤 辰男	56	新	175
当	小西 静夫	61	新	168
当	竹ヶ原 公勝	43	現	156
当	渡部 良次	69	現	156
当	千葉 光義	48	現	149
当	川口 常行	63	現	139
当	平沢 浩	59	現	137
次	笠原 賢	61	新	130
	計			3,210.998
	按分により切り捨てられた有効票			0.002
有	効 投 票			3,211
無	効 投 票			15
投	票 総 数			3,226
投	票 者 数			3,228
不	符号の理由—不受理			2



相澤二三男町長

町長・町議会議員選挙終る

町長に相澤二三男氏無投票で再選

平成五年二月七日執行

鹿部町議会議員選挙結果

町議会議員十六名も決まる

民生・児童委員決まる

地域住民と行政とのパイプ役「民生・児童委員」の任期満了にともない、この度新委員として、平成七年までの三年間の任期で、次の十一名の方々が厚生大臣から委嘱されました。

民生・児童委員は、社会福祉の増進のために、地域住民の実情を把握し、生活困難者の保護指導や各制度の内容、手続き方法等町民と役場や福祉事務所のパイプ役として助言指導するのが主な仕事で、

す。

職務遂行に当たっては、個人の人格を尊重し、身上に関する秘密は厳守されていますので、地域の困りごと、日頃の悩みごとなどありましたら、地区担当の委員に気軽にご相談下さい。

なお、退任されました、松川政太郎さん、若山房五郎さんには、在任中は地域住民の福祉の増進に並々ならぬご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。



鹿部地区 熊川ユキ子氏



大岩地区 飯田記一郎氏



鹿部地区 小田ナミエ氏



鹿部地区 天満 武夫氏

民生・児童委員は、地域の皆さんの身近な相談相手です！



宮浜地区 長谷川 保氏



宮浜地区 古村 敏男氏



宮浜地区 中川 律子氏



宮浜地区 加藤 幸吉氏



本別地区 浦 梅吉氏



本別地区 米本 行雄氏



本別地区 木村フサ子氏

第十回

書き初め席書大会

町長賞に

杉目貴史君(中二年)

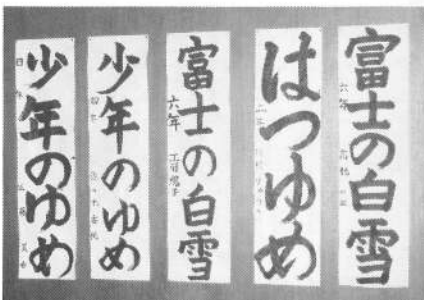
町教育委員会主催による第十回書き初め席書大会が、一月八日に中央公民館において行われました。

当日は三十名の小中学生が参加し、力強い筆使いで与え

られた課題や字に真剣に取り組んでいました。

入賞者は次のとおりです。

- ▽町長賞 杉目 貴史(中二)
- ▽教育長賞 高橋 和政(小六)
- ▽文化協会賞 川村 龍平(小二)
- ▽金賞 佐々木香純(小四)
- 佐々木健祐(小六)
- 小嶋 樹瑠(中二)
- 賞 佐藤 美香(小四)
- 永澤 あゆ(小六)
- 杉目 裕史(中二)
- ▽銅賞 本田しのぶ(小六)
- 小嶋 美緒(小六)



小嶋康太郎(小二)
坂下 晃子(小六)

平成5年度新入学児童

男子	45名
女子	42名
計	87名



入学が
まちどうしい
な~

〔鹿部地区〕

盛田	中山	天満	土屋	高橋	佐藤	佐藤	佐藤	佐々木	坂本	齋藤	熊川	熊川	小田	伊藤	市谷	阿部	児童名
ゆりえ	勇樹	愛美	裕也	絵里	慶治	正人	旭人	祥多	美華	実央	僚太	慶太	和典	藤喬	真治	あゆみ	
以上17名	武克	裕進	司之	明男	一人	一人	昭人	正昭	丈勝	英夫	英行	英行	豊基	栄治	秀晴	保護者	

眞鍋	表野	原田	下山	児童名
心一	満里子	元嗣	慶	
以上4名	喜寛	浩次	和幸	保護者

〔大岩地区〕



平成五年四月に小学校へ入学する児童名簿です。この名簿は今年一月に調査したものです。名簿に漏れている方は、教育委員会・学校教育課までご連絡下さい。

☎ 七三二二四

〔宮浜地区〕

加藤	柏藤	大澤	伊藤	池田	家保	児童名
祐太	沙織	悠祐	拓麻	健太郎	充里	
秀幸	日出男	利治	徳文	悦三	浩樹	保護者

和野	山科	山口	盛田	村林	松本	松川	松川	松川	松川	松川	松川	松川	松川	平崎	濱山	長谷川	西村	寺島	高本	高橋	高橋	高橋	佐藤	佐藤	佐々木	佐々木	小川
さなえ	拓香	友輔	大輔	美咲	真代	紗也	睦美	みさき	まゆ	雅樹	拓嗣	里実	絵里	忠憲	真由美	恵理	麻奈	健太	美波	まゆ	淳貴	礼望	雅之	健太	孝平	圭吾	瑛莉
以上36名	武裕	健一	昌利	吉則	善一	博文	正之	智之	昭淳	昭淳	敏博	永吉	公彦	英彦	進朝	滋朝	静雄	幸雄	国義	幸雄	国義	達弘	祐一	茂郎	敏郎	章悦	石悦

〔本別地区〕

若山	吉田	米田	吉田	吉田	山田	山田	村林	村林	松川	本川	平井	平井	野田	野田	仲谷	寺澤	武田	佐藤	佐藤	込山	久保田	木村	木村	小笠原	浦住	魚住	伊藤	伊藤	荒町
大隆	里美	円介	憲之助	慎之助	口茜	敬介	敬介	敬介	浩樹	健一	健一	加奈子	麻亜子	麻亜子	真奈美	一樹	賀文	むつみ	恵里佳	章吾	美穂	晃一	啓太	啓太	圭吾	麻友	藤步	藤将	晶子
以上30名	唯隆	学敏	勝久	悦雄	清成	光明	三雄	信之	常芳	優子	重毅	順毅	政義	要美	春美	和一	英之	薫之	定吉	眞里子	和夫	和夫	和夫	勝学	みどり	政明	行明	行雄	

健康へのページ

糖尿病の原因と症状

増える糖尿病

糖尿病は現代病、あるいは文明病などといわれています。今では全国に約5百万人の患者がいると言われ、増加率は自動車登録台数に比例すると言われてます。

糖尿病の増加は、肥満が増えたことと関係していますが、その肥満の原因は食生活の向上というより、むしろ、自動車など現代生活の便利さが運動不足を招いていることが大きいのです。

糖尿病は成人病の一つで、男女ともに40~50歳代で最も多く発症しています。こうした年齢では体重も増え、またストレスの多い管理職につくことも多く、危険な年代と言えます。

糖尿病は合併症がこわい

糖尿病が恐ろしいのは、ほっておけば死に至る合併症や、三代合併症といわれる急性の網膜症、腎症、神経障害、それに脳や循環器系の障害につながる動脈硬化などの深刻な合併症にかかることです。これらの合併症は、老化を加速させ、生命を根底から脅かします。

ただ、糖尿病は直接の死因としてあげられることがめったにないので、その恐ろしさが実感しにくく、警戒と注意を怠りがちです。糖尿病は、食べすぎや運動不足によって引き起こされるので、現代人にとっては半ば宿命的な病気と言えます。

こうして見つける糖尿病

糖尿病は初期の段階では自覚症状がほとんどみられないのが特徴です。いいかえれば、自覚症状が現れた場合はある程度症状が進んでいると考えられます。

血糖値が高いままの状態が続くと、突然合併症が現れて、それによってようやく気づくこともあるのです。糖尿病はなによりも早期発見が大切です。それには多食、運動不足、肥満、ストレス、遺伝など糖尿病になりやすい危険因子が自分にはないかをチェックし、少しでもリスクを少なくしていくようにします。また、進行すると、図に示すような自覚症状があります。当てはまるものがある場合は、すぐ検査を受けるようにしましょう。

●ここまできたら要注意●

①視力障害

糖尿病の合併症のなかでも血管障害によるもの。網膜が出血している場合があるので、早急に専門医の検査を受ける。



②知覚障害、神経痛

①と同じく合併症の神経障害によるもの。手足がしびれたり、チクチクと針で刺すような痛みがある。



こんなサインを見逃すな

①疲れやすい



とにかく体がだるく、何もしたくなくなるほど疲れがひどい

②のどが渇く



血液中の多量の糖を排泄するために尿となって大量の水分が失われるため、のどが渇く

③尿の量が増える



②の理由により、水を飲めばそれだけ尿の量も増える。

④やせる



糖を体内で活用できないぶん、脂肪を燃やしていくためやせる。

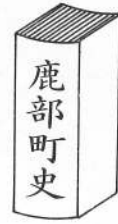
⑤やたら食欲がある



栄養素が利用されず尿が出るため、食べても食べても太らない。

成人病としての糖尿病は、中高年になるにしたがって増えてきます。年齢的には30歳以上になったら、糖尿病の予防、早期発見を心がけ、健康診断書などの定期検査を必ず受けるようにしましょう。

3月の保健事業		11日 (木)	健康教室 受付10:00~10:30	老人いこいの家
9日 (火)	1歳6か月児健康診査 受付13:00~13:30	24日 (水)	健康相談 受付14:00~16:00	中央公民館 鹿部会館
10日 (水)	健康相談 受付14:00~16:00	26日 (金)	赤ちゃん健康相談 受付10:00~15:00	老人いこいの家 鹿部会館



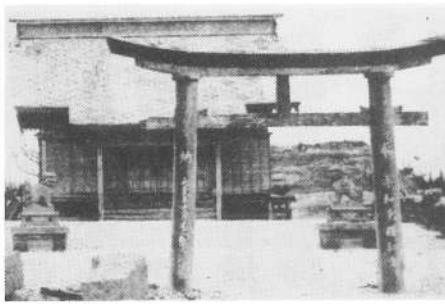
編集室だより

郷土の神がみ

遥かな昔、新天地を求め命がけで海を渡って郷土に來住した先祖の人たちは、アイヌの住む厳しい郷土の風雪に耐えるためにも産土神を祭って心のささえとしたのが郷土の神がみのはじめでした。

鹿部稲荷神社

神社の由緒略記には創始の起源を安永九年(一七八〇)知行主新井田金右衛門に懇願し、領主松前広長公に請願して社殿を建築したと記してい



鹿部稲荷神社 昭和4年(噴火の後)

る。しかし当時の藩主は道広公の代。広長は福山秘府や旧纂図絵の編著者として知られるひとで藩主ではない。

寛政三年(一七九一)に郷土に來遊した紀行家菅江真澄は、その旅日記「えぞのでぶり」に

ザルイシを経て「シユシユベツのコタンがあった。シユシユは柳のことをいい、ベツとは川をいう。柳の生えている流れということであろう。深い森のかけに鳥居の建っているところが神泊(神社)だ」と記しています。

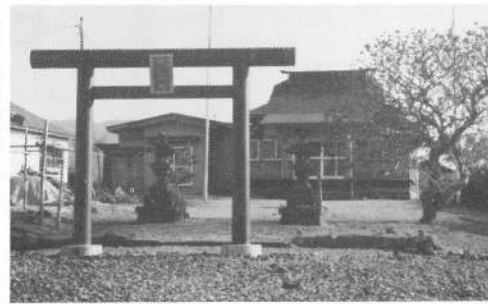
また南部藩士の報告書である安政二年の書上に

稲荷社、凡百二拾年以前建立と記しています。遡ると、享保二〇年(一七三五)頃には一社を祀っていたのです。

このほか旧纂図絵や巡回御用神社取調日記によれば、その起源を延享二年(一七四五)とも記しています。

開村以来、海岸通りに鎮座した稲荷神社は明治七年村社に列せられ、昭和元年神饌幣帛料供進指定神社となる。

昭和二九年秋、台風で社殿損壊、大修理をしたが昭和三十一年七月現在地に遷座した。



本別稲荷神社

本別へ和人が來住したのは鹿部本村と同年代とみられ、海浜、漁場の適地として來住者がふえました。

安政二年、南部藩士が記録した東蝦夷地海岸図台帳には百年前、本別稲荷社建立と記している。遡ると宝暦元年(一七五一)に当たり、鹿部稲荷神社に約十五年おくれで創建されました。

以来ながく現在地に鎮座、昭和二九年の台風で被害あり社殿を十割うしろに移したそうです。

例祭は独自の日程で執行されています。境内にある神木は、本別のシンボルです。

本別稲荷神社

東蝦夷地道中畧記によると「トコロ「稲荷の宮あり」と記されています。寛政年中(一七九〇年代)より以前にすでに常路(現大岩地区)に來住者があったことがわかります。古老の話では、現在の椎野家の西側の山裾に神社があり、境内に湧く岩清水は、稲荷さんの水といつて常路の人々は汲みにいったそうです。

昭和十五年、大岩と字名改正、昭和二十年七月十五日の鹿部空襲で、社殿が損失したので一時、沓の山の別荘にあった竜神社に遷されました。

戦後山上に社地を求めて社殿を建立して遷座しました。昭和三十一年、鹿部神社の旧社殿の一部を移して増改修し、現在に至りました。



大岩稲荷神社

小川の神社

明治二三年、小川地区(現・駒見)に、福井の人中川忠四郎等五戸が農耕開拓に入植、神社創建。大正五年の五万分の一の地図に「川」の記号があります。

雨鱒川鉾山の山神社

昭和四年の噴火被害で離農。明治二八年、雨鱒川の上流に硫黄鉱が発見されて同三十年には本格的な採鉱がおこなわれ繁栄しました。ここに鉾山の神さま山神社があり、昭和三五年閉山まで祀られていました。

出来澗神社

明治の末頃、平沢利吉という人が出来澗に來住して祀ったのが神社の起源と伝えられています。

昔は海側にあったのを噴火後現在地に遷座したそうです。



出来澗稲荷神社



町内の本別海岸線及び側溝補修工事は、水力発電施設周辺地域交付金事業補助金を受け整備しております。

「白い粉」・「黒い武器」の撲滅に御協力を！

2月は、全国一斉の「薬物乱用事犯取締強化月間」及び「けん銃特別取締月間」です。

「白い粉」・「黒い武器」に関して目にしたり耳にされた情報を最寄りの税関へ通報してください。
たとえ、さ細なことでも結構です。

密輸110番 (フリーダイヤル) 0120-324110 ミツヒョクトーバン 大蔵省函館税関

◎町社会福祉協議会へ
松本豊勝さん(宮浜)より入院見舞のお返しとして、五万円のご寄付がありました。ご芳志通り有効に使わせていただきます。
本当にありがとうございます。



この度、岡村秀太郎さん(新潟県六日町在住)より図書室整備にお役立てくださいと一千万円の寄付がありました。岡村さんは以前も五百万円を中央公民館の図書費用に寄付されており、町では岡村文庫として図書を整備することとしております。
本当にありがとうございます。

「寄付のお礼」

山田英夫 氏
鎌田睦子 氏
浅利修五 氏
鹿部 氏
名 名 名 名
享年 六十一歳
三〇歳
五十四歳
住所 宮浜
宮浜
別所
別所



おくやみ
もうしあげます

小西将矢 氏
黒澤彩紀 氏
盛田有希 氏
州昭 氏
大岩 氏
名 名 名 名 名
父 父 父 父 父
住所 鹿部
鹿部
鹿部
鹿部
鹿部



おたんじょう
おめでとう

世帯と人口

平成4年12月31日現在
()は前月比です。

世帯数 1,482世帯 (-6)
男 2,469人 (-9)
女 2,501人 (-1)
計 4,970人 (-10)

●平成四年十二月分

佐藤キミ 氏
工藤安太郎 氏
名 名
享年 八十五歳
八八歳
住所 宮浜
鹿部



おくやみ
もうしあげます

吉田美和 氏
関谷和幸 氏
佐藤一真 氏
高橋菜八 氏
浦橋優菜 氏
干川温哉 氏
名 名 名 名 名 名
父 父 父 父 父 父
住所 鹿部
鹿部
鹿部
鹿部
鹿部
鹿部



おたんじょう
おめでとう

世帯と人口

平成5年1月31日現在
()は前月比です。

世帯数 1,486世帯 (+4)
男 2,480人 (+11)
女 2,508人 (+7)
計 4,988人 (+18)

●平成五年一月分

戸籍の窓